

孤立が生む被害

障がい児者への性暴力を生まない社会へ

発達障がい児者を対象とした調査をくしあわせなみだ>が2018年前半に実施し、32名中23名が何らかの性暴力を経験していることが明らかになりました。これだけ多くの割合で被害が生まれる背景にあったのは、障がい児者をめぐる「孤立」です。褒められる経験が少なく、仲間外れにされがちで、存在を無きものとされることもある障がい児者たちは、社会のなかで、つながりを持たず、疎外されがちです。

自分の特性が社会で認められないまま育った経験からくる「自己肯定感の低さ」は、不快なことにも笑顔で応え、声をかけられればついて行き、嫌なことがあっても抵抗できないという言葉を生み出します。これが、性暴力に遭うリスクを高めています。障がいの有無に関わらず、あらゆる人々が包摂され、多様性が認められるために、私たち市民にできることは何か。対話を通じて考えます。

■ゲスト： 岩田 千亜紀さん



東洋大学社会学部社会福祉学科助教。
日本女子大学文学部社会福祉学科卒業後、インド Jawaharlal Nehru University 修士課程、日本社会事業大学大学院社会福祉学研究科修了(社会福祉学博士)。専門は、障害者福祉、子ども家庭福祉、ジェンダーと福祉、プログラム評価、社会開発論。発達障害をもつ母親の子育て支援や、障害者の性被害に関する調査、学習支援プログラムの評価調査等に取り組んでいる。主な論文に「障害者へのDVなどの暴力についての国際的な動向と課題：文献レビュー」『東洋大学 社会学部 紀要』55(1) 43-55 (2018年) など。

■中野 宏美さん



NPO 法人しあわせなみだ代表。東洋大学大学院社会学研究科修了。社会福祉士。精神保健福祉士。友人がDVに遭ったことをきっかけに、できることから始めようと決意。「2047年までに性暴力をゼロにする」ことを目指して、しあわせなみだを2009年に立ち上げる。性暴力等に遭った方を応援する【Cheering Tears】、性暴力等に遭った方を美容の力で輝かせる【Beautiful Tears】、性暴力ゼロを実現するために社会に働きかける【Revolutionary Tears】を展開中。2018年AERA「社会起業家54人」選出。主な論文に「災害時の性暴力一見えないリスクを可視化する」(自治体危機管理研究,2016)など。

■日時：2018年10月11日(木) 18:30~21:00 (開場 18:00)

■会場：文京シビックセンター 5階 会議室C

東京都文京区春日 1-16-21 (丸ノ内線/南北線・後楽園駅1分、三田線/大江戸線・春日駅1分)

■参加費：一般 1,000 円/学生 500 円 当日受付にてお支払ください。

■主催：ソーシャル・ジャスティス基金 (SJF)

東京都新宿区歌舞伎町 2-19-13 ASK ビル 501 認定 NPO 法人まちぽっと

Tel 03-5941-7948, Fax 03-3200-9250、ホームページ <http://socialjustice.jp/>

■お申込みページ：<https://socialjustice.jp/20181011.html> 事前にご登録ください。

